



Affiliated with The International Association of Y's Men's Clubs
Chartered : 10 May, 1961

東京むかでワイズメンズクラブ

THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO-MUKADÉ "CENTIPEDE"

Office : Tokyo YMCA Toyoko Center
2-2-20 Toyo, Koto-ku, Tokyo, Japan

〒135-0016 東京都江東区東陽2-2-20
東京YMCA東陽町センター内
TEL 03-3615-5568

2017年7月 ~ 2018年6月

会 長 城井 廣邦
副 会 長 櫻井 浩行
直前会長 土井 宏二

国際会長主題 「ともに、光の中を歩もう」
アジア会長主題 「ワイズ運動を尊重しよう」
東日本区理事主題 「広げよう ワイズの仲間」
東新部部長主題 「E人（イーヒト）になろう」

書 記 鈴木 健彦
会 計 今井 武彦
担当主事 星野 太郎

2018年 4月例会 (674回)

(強調月間 : LT)

今月の聖句

これは、主が設けられた日である。この日を楽しみ喜ぼう。(詩編118編24節)

This is the day the LORD has made; let us rejoice and be glad in it.

シニアY・Y・Yキャンプに参加しよう!

2018年5月12日(土) ~ 15日(火)
東京YMCA 山中湖センター

4月本例会

日 時 2017年 4月17日(火) 18:30~20:30
場 所 東京YMCA東陽町センター 1階・視聴覚教室
参加費 1,500円(食事代を含む)
出欠は 4月14日(金)までに今井君までご連絡ください。

4月 LTについて

Leadership Training: 会員のリーダーシップ開発、向上を目的に行う研修のこと。東京むかでクラブでは、新年度が始まるに際して、「下田会議」と称する研修と次年度の運営に関する会議を行い、マニュアルを整備して、クラブ運営の指針としている。(高津 記)

HAPPY BIRTHDAY

6日 土井 麗子 19日 阿山 博子

結婚記念日おめでとう

27日 鈴木健彦・(玖仁子) 29日 櫻井浩行・啓子

4月本例会 プログラム

準備 櫻井 浩行 吉田 司
受 付 吉田 司
司 会 鈴木 健彦
開会点鐘 会 長 城井 廣邦
ワイズソング 一 同
ゲスト・ビジター紹介 司 会
今月の聖句・感謝 神保伊和雄
楽しい食事
卓 話「未来への創造性開発」
シロイアソシエイツ社長 城井 信正
強調月間アピール 高津 達夫
ハッピーバースデー・結婚記念 司 会
ス マ イ ル 森本 晴生
諸報告 各 担 当 者
閉会挨拶 副会長 櫻井 浩行
閉会点鐘 会 長 城井 廣邦

2017年 3月 の 記 録 (*累計は期初からの24累計)

会 員 出 席 状 況		メーキャップ記録		スマイル	0 円
正 会 員	14 名	出席(メネット)	0 名	BFポイント	現金累計 0 円
功 労 会 員	1 名	出席(コメット)	0 名		切手累計 0
在 籍 者 数	15 名	出席(ゲスト)	2 名		
出 席 (正 会 員)	11 名	出席(ビジター)	0 名	リングプル	累 計 11.33 Kg
出 席 (功 労 会 員)	0 名	例会出席総数	13 名	むかで基金	今月分 13.850 円
		出席率	85 %		

会費振込先 みずほ銀行 津田沼支店 普通預金 2406490 東京むかでワイズメンズクラブ

3月本例会報告

東京むかでワイズメンズクラブ3月本例会は、3月20日(火)午後6時30分より、東京YMCA東陽町センター1階・視聴覚室において開催されました。

神保伊和雄君が司会を務め、城井廣邦会長の点鐘で開会しました。ワイズソングに続き、ゲスト紹介では会長の友人の茨城修氏と守田梢さんが紹介されました。聖句・感謝を鈴木健彦君が捧げ、食事となりました。

本日の卓話は、予定されていた城井会長のオフィスで研修中の東京女子大4年・宇佐美彩未さんがインフルエンザで欠席となったために、急きょ城井会長が登壇となりました。以下は卓話の要旨(城井会長記)。

「2018年1月、大きな方向転換を暗示する記事が新聞メディアを中心に発信されました。【卓話する城井会長】



私が何十年間も続けてきた新聞記事分析の中で、これほど明確に示されたコトはありませんでした。国は景気が順調に回復していることをア

ピールして、実感できる景気回復にしたいと考えています。景気回復により、多くの企業の高利益が示されています。しかし、企業も一般国民も厳しい時代を経験して非常に用心深くなり、節約意識は改善されないまま、国は3%給与UPを掲げ、大企業、中小企業に働きかけています。

そうした状況の中、若者の就業率は大幅に改善され、有効求人倍率1.59倍となり、ほぼ100%の若者が就職できる状況となりました。今まで就職できない若者が多くなり、20年以上ダメージを受け続けてきました。生まれてからこの20年間、良い時を知らずに成人した若者がいるといわれています。父親、母親、祖父、祖母への影響も出ました。子どもが35歳になっても結婚できない現実に、子ども、孫に支援し続けてきました。その結果、これ以上子ども、孫に負担をかけられないと思い、お墓離れ、お墓じまい、葬儀の簡素化がブームのように拡大してしまいました。構造不況が生んだ構造不幸社会と言っても良いのではないかと思います。2018年、若者たちが就職し、自立することが出来るようになり、結婚願望も向上し、結婚年齢も下がるものと予測しています。

経済の好調によって「人の生き方」が問われることになりました。2年前からはじまった「君の名は」に1900万人の若者が何度も映画館に足を運び、学校で友人たちと意見交換すると言った様子を見て、なぜ「君の名は」が大ヒットするのか明確な論評はありませんでした。私は若者たちが「君の名は」を大ヒットさせたその理由は、若者の心の中にあった「未来への希望」

に向かって、多くの視点から考える良き機会になったと思います。

大人から見ると「何だか分からない」と言った評価もありましたが、「これからどう生きてゆく」テーマはしっかり若者の中に生まれて定着したものと思います。

日本は長い間、若者不在のマーケットでした。しかし、これから若者が自立して、日本のマーケットの中で新たな価値観を生みながら、新しいマーケットを創造していくと期待しています。AIの普及拡大で人の生活は大きく変わってゆくと思います。自動運転社会はまさにAIのなせることと思います。しかし、自動車業界にとっては、大きなダメージになると言われています。AIの導入で所有するクルマから使用するクルマ社会になると、価値観は大きく変わるものと考えます。

女性も40代以上の再就職へ向かっています。シニアが平均100歳とも言われ、いつまでも働き、いつまでも人生を楽しむ時代に向かっているように思います。

働き方改革、人づくり改革とした政府方針が出て、人の生き方が本格的に問われる時代になったと思います。私達、東京むかで行っているシニアY・Y・Yキャンプ、シニアスキーキャンプも、人生100年時代をどう生きていくかに答えるためのプログラムと位置づけています。日本は若者の自立、ミドルの自立、シニアの自立を通して、長期低迷の時代から豊かな生き方の時代になると考えます。今までの流れを見て、未来を予測してもその答えは出ないと考えます。これからゆっくり時間をかけて、豊かな社会となることを誰もが望んでいます。アメリカ、北朝鮮、中国といった国々の中であって、日本がどう進んでゆくのか、期待と不安の中にいます。若者の自立、ミドルの自立、シニアの自立が出来れば、日本は豊かに暮らせると思えます。

新たな日本へ一歩進みながら、私たちワイズメンズクラブも社会の一員として、価値ある活動が出来ればと考えます。私達の先に未来があるのですから、今を大切に生きなければと考えます。」



続いてミニオークションが行われ、吉田司君、今井武彦君が担当して13,850円の売り上げでした。ハッピーバースデーは、ゲストの守田さん

んに贈られました。【写真＝ミニオークションの様子】

引き続き、諸報告の後、城井会長の閉会点鐘で閉会しました。

(伊丹 記)

出席者:城井、伊丹、今井、櫻井、神保、鈴木、高津、

長谷川、星野、吉田司、吉田純

ゲスト:茨城修、守田梢 (敬称略)

さよなら妙高高原ロッジ

感動的に閉幕した「東京YMCA妙高高原ロッジ」と「信越妙高ワイズメンズクラブ」

3月7日 東京YMCA妙高高原ロッジにおいて、ロッジの閉館と信越妙高ワイズメンズクラブのさよならパーティーが開催されました。

東新部伊藤幾夫部長を中心に、部の役員の方々、西日本区大野勉理事、書記、同時に開催したシニアスキーキャンプに参加された一般の方々も加わり、30数名のパーティーとなりました。

東日本大震災への支援物資は、東京YMCA妙高高原ロッジをベース基地にして仙台YMCAへ輸送され、仙台YMCA村井総主事はその時の感激を涙ながらに話され、集まった全員が感動しました。

今までの多くの思い出やエピソードが紹介され、また、熱く語られました。

素晴らしいプログラムを作ってくれた東京YMCA妙高高原ロッジと信越妙高ワイズメンズクラブ、思い出の中で幕を閉じました。

(城井 記)

シニアスキーキャンプ

「東京YMCA妙高高原ロッジさよならパーティー」開催と同時に、「シニアスキーキャンプ」を開催しました。スキーキャンプはシニアにとって危険なのではと言われ、本当に無事に終えることが出来るのか、危機感を持って運営と安全なスキーを徹底しました。13名の参加者と東京世田谷クラブの朝倉正昭ワイズの協力を得ることができ、上級クラスをまとめていただきました。【写真＝池の平スキー場にて】



アルペールビル・オリンピック元日本代表の山崎修氏に北海道から参加して頂き、世界的スキーヤーの滑りと安全な滑り方を教わる事が出来ました。

初級クラスは、協力参加の志賀高原の正指導員の奥田温子さんに指導していただきました。始めは立つこともままならなかった鈴木健彦ワイズは、リフトに乗り上から下までノンストップでスムーズなスキーを楽しめるまで上達しました。茨木順子さん、飯野毅与志さんは、パラレル・クリスチャンアが出来るまでアツと言う間に上達しました。

一人ひとりが自分のペースで無理することなく滑ることを心がけ、本当にいい仲間たちが集まりました。来年も開催することを約束して無事に帰路につきました。スキーは最高の時になりました。

(城井 記)

3月の「川口こども食堂」訪問 (21)

3月22日(木)の「川口こども食堂」開催日に訪問。天候は晴れ。前日までの寒の戻りの寒さはなく、桜ちらほらと咲き始め。食堂開店は午後5時半。開店時はこども6人、その後は続けて子供たちが来店し、テーブル席は一杯となった。みんなで席を詰めて後から来た仲間の席を作る。

今日がこの会場での最後の開催日となるため、「一杯食べるぞ」という感じで子供たちが集まった。母親も一緒に参加している。出席者は、子供20名、母親5名。その他手伝い4名。さらに本日は、第二部として午後8時に2組の親子が来店されるとのことでした。



本日のメニューは、メインは各種ピザ、副菜は、ハンバーグ・チーズ巻き揚物・野菜の付け合わせ。きんぴらごぼうも好評。ピザは一枚づつパン焼き窯で、井上マスターが焼き

上げ【写真】、私たち手伝いがテーブルに運び、子供たちは皆、熱々のピザをほおぼっている姿は壮観そのもの。デザートは、自家製特製シュークリーム。

食事が一段落すると、鈴木牧師司会によるゲームコーナー。一段の盛り上がり。すでに終了定刻7時を過ぎていましたが、ゲームは進行中。私たちは、途中で失礼させていただきます。

来年のこども食堂再開まで、鈴木牧師夫妻・牧師夫人のご両親井上夫妻の健康と、建て替えが無事に終わることを祈念しています。

(今井 記)

シニア Y・Y・Y キャンプ関係連絡

昨年度実施した第一回のシニアY・Y・Yキャンプに続いて、今年度も第二回目のシニアY・Y・Yキャンプを行う。

前回参加された方も再度参加していただけるようにと、前回好評だったプログラムに加えて新しいプログラムをいくつか用意した。

昼の部:今までのスケッチ、写真、歌、水上プログラム、野草生花、茶会(野点)。前年に加えて、温泉、桜美林大学の学生さんの指導で「ボッチャ」という老いも若きも楽しめるゲーム、吉田リーダーによる「松ぼっくりフライングゲーム」等が用意されています。

夜の部:キャンプファイヤー、落語、カントリーソングコンサート、ジャズコンサート、飲み物が出される談話室が用意されます。楽しいですよ!!

皆様のご参加をお待ち申し上げます。(鈴木 記)

陽春のつどい

3月24日(土)東京YMCA東陽町センターウエルビーにて正午より、地域の高齢者対象の『陽春のつどい』が開催されました。恒例のお雑煮、納豆、餡、きな粉、大根おろしの絡み餅、香の物、お茶を召し上がって頂いた後は、昔遊

びの剣玉、こま、お手玉、おはじきで遊ぶ人、お習字を楽しむ人、おしゃべりする人で賑やか、1時半からは視聴覚教室に会場を移し、毎年大人気の福々亭熊助一座による、落語、日本舞踊、歌の余興があり、参加者のみなさんが、お腹からこんなに笑ったことない? と満足な笑顔で3時半お開きとなりました。【写真】



参加者123名、職員、ボランティア27名。

追伸:城井会長より、シニアY・Y・Yキャンプへの説明があり、手元のチラシを見ながら、「自由参加が良い」「プログラムがたくさんあって楽しそう」と嬉しい反響がありました。

参加者:城井、神保、星野、吉田ひ。(吉田紘子 記)

会長通信

3月、シニアスキーキャンプを無事に終え、次の5月12～15日のシニアY・Y・Yキャンプに向け、毎日その準備に追われています。シニアでも楽しむプログラムを用意するために、多くの検討をして質の高いプログラムが揃いました。今回も参加の「入り、出」はフリーです。プログラムも体調に合わせて参加、不参加もフリーにしています。夜は寄席、カントリーソングコンサート、JAZZコンサートが開催されます。楽しい時になると思います。昼間はフリーチョイス・プログラムで皆様にアーティストになっていただきます。また、桜美林大学の谷内ゼミの協力でパラリンピックの「ボッチャ競技」を楽しみたいと考えています。

今年も楽しいキャンプになることは間違いなさそうです。

会長として楽しいキャンプにしたいと希望しています。

(城井 記)

<4月の予定>

- 3日(火) 東京むかで・ブリテン印刷会
- 3日(火) 東京多摩みなみ・4月本例会
- 9日(月) 東京まちだ・4月本例会
- 10日(火) 東京・4月本例会
- 11日(水) 東新部役員会
- 12日(木) 東京センテニアル・4月本例会
- 17日(火) 東京むかで・4月本例会
- 20日(金) 東京世田谷・4月本例会
- 21日(土) 東新部評議会・次期クラブ役員研修会
- 21日(土) 東京コスモス・4月本例会
- 24日(火) 東京むかで・4月第二例会

<5月以降の予定>

- 8日(火) 東京むかで・ブリテン印刷会
- 15日(火) 東京むかで・5月本例会
- 22日(火) 東京むかで・5月第二例会

3月第二例会報告

2018年3月24日(火) 東京YMCA東陽町センター1階視

聴覚教室で、東京むかで・3月の第二例会が行われた。

議題は、①ブリテン4月号の記事内容及び各記事の担当執筆者決定。②シニアY・Y・Yキャンプ・プログラム担当の確認。キャンパーの募集方法、及び作業内容の検討。③我々のクラブへの新しいメンバーの入会式を、シニアY・Y・Yキャンプ中に行えるかの検討であった。(鈴木 記)
出席者:伊丹、今井、城井、神保、鈴木、高津、星野

東京YMCAニュース

◆春スキーキャンプ報告

春休みのスキーキャンプは全8コースを開催、約280名の子どもたちが参加しシーズン最後のスキーを存分に楽しみました。高校3年生の参加者はぜひ4月からリーダーにという願いもこめられ、また3月で大学や専門学校を卒業するリーダーたちへのこれからの活躍を祈る機会でもあります。終わりは始まり、寂しさと希望が交錯する春スキーキャンプでした。

◆東京YMCA午餐会

【テーマ】「旧約聖書が教える平和」

【卓話者】 広田勝一氏

(立教学院院長・聖公会神学院教授)

【と き】 2018年4月26日(木) 12:00～13:30

【ところ】 東京大学YMCA(南北線 東大前駅0分)

【参加費】 3,000円(昼食つき)

【申込み】 賛助会事務局 sanjo@tokyoymca.org

TEL: 03-6302-1960 (星野 記)

3月会計報告他

1. 月間収入・支出合計		期間3/1～3/31	
口座名	月間収入額	月間支出額	
一般口	3,000円	28,688円	
ファンド口	13,850円	0円	
一般口主要収入	例会参加費 3千円		
一般口主要支出	例会弁当代 17千円、 2月第二例会後部長懇親会 7千円、 こども食堂支援5千円		
ファンド口主要収入	例会オークション売上 13千円		
(今井 記)			
2. リングプル 3月預かり G:グループの略 (神保 記)			
ご協力者名	重量	ご協力者名	重量
長谷川正雄氏 G	1.2 kg	今月累計	11.33 kg

編集後記

ようやく暖かさが増し、桜の花も咲き誇っています。このブリテンが出る頃には葉桜になっているのでしょうか。木々が新緑になる5月には、我々の大きな行事であるシニアY・Y・Yキャンプが東京YMCA山中湖センターで実施されます。皆様の助けを得て、楽しく、事故もなくおわせたいと思います。(鈴木 記)